

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	04108-1	地球温暖化防止対策推進事業	室名	環境保全室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財 会計	一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務 款	衛生費
施策の方向	01:環境負荷の少ない社会の形成		科 項	保健衛生費
	戦略プロジェクト		目 目	環境衛生費

② 目的・概要	対象	市民・事業者・行政
	目的	市域全体で、地球温暖化防止活動を実践することにより、市域の省エネ行動・省資源活動の実施率を上げ、二酸化炭素排出削減に努める。
概要	平成24年度まで運用していた「市地球温暖化防止対策地域推進計画」の理念を引き継ぎ、市民・事業者・行政が、それぞれまたは協働して、温暖化防止に関する意識啓発、実際の取り組みを促す。具体的には、環境活動ポイント制度(AKP)を啓発し、市民の省エネ行動・省資源活動への取り組みを促す。また、各種イベントにてクイズ大会を開催し、参加者と一緒に学ぶ機会を増やしていく。なお、地球温暖化防止対策実行計画【区域施策編】の運用を行っていく。	

		27年度	28年度
③ 指標	① 名称	環境活動ポイント制度(AKP)等温暖化防止啓発に係るPR回数	計画値
	補足	広報・ケーブルテレビ・説明会・イベントのブース開催数／訪問回数／郵送数	実績値
		21 / 16 / 457	10 / 2 / 0
		単位	回 / 件 / 通
②	名称	環境活動ポイント制度(AKP)の参加者数	計画値
	補足	クイズ大会等イベントへの参加者人数 ／環境活動ポイント制度(AKP)の取り組み世帯	実績値
		6,090 / 334	6,250 / 330
		単位	人 / 世帯

		年度計画		年度実績	
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費
					総人件費 ① 3,662
	国庫支出金				一般職員人件費 ② 3,662 平均給与額×③
	県支出金				所要人員 ③ 0.50
	地方債				臨時職員人件費 ④
	その他				受益者負担額 ⑤
	一般財源	3,222	2,841		受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額			
		前年度からの繰越額			
	総人件費			①	3,662
	総コスト			⑥	6,503

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	「かめやま環境プラン」及び「温暖化防止対策実行計画【区域施策編】」に基づき、AKP事業の参加を募った。過去2年間と比較し、事業の認知度・重要度が市民に浸透したことにより、募集後、早期に目標世帯に達した。この事業を通して、家庭での環境行動が評価され、見える化されることによって、市民の省エネ等に対するモチベーションが年々高まり、市民の環境行動へのきっかけづくりにつながった。また、各種イベントにおけるクイズ大会の開催、三重県主催の「みえ環境フェア」への参加など、様々な機会や媒体を利用して地球温暖化防止の啓発に努めた。	総合判定
			B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	実際に参加した世帯の市民の声を聞くと、3年間事業として実施してきたAKP事業を継続したことにより、地球温暖化防止への取り組み意識は向上してきていると考えられる。この事業を平成29年度にしっかり検証し、次なるステップへ繋げていく必要がある。温暖化の情報は解釈が難しく、市民が理解を深められるよう、内容をより噛み砕き、興味を持てる情報として常に発信していくことを検討していく必要がある。	
	【改善の方向性】	平成29年度にAKP事業の検証を市総合環境研究センターに研究委託(環境創造事業)し、分析した内容を踏まえ、次なるステップの事業を検討していく。また、地球温暖化防止活動推進員や「市民大学キラリ」くらしのアドバイザー養成講座受講生等と協力しながら、様々な場所で、わかりやすく噛み砕いた上で周知啓発していく。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 環境保全室長 石垣 忠